



# 館報 まつかわ

松川町公民館報  
第711号  
令和5年2月15日

町の川 ④⑥ ムツカシ沢 雨乞いの滝



# の小学校のあゆみ

【参考文献】 上片桐・大島・生田の各村史  
松川町教育委員会発行文獻

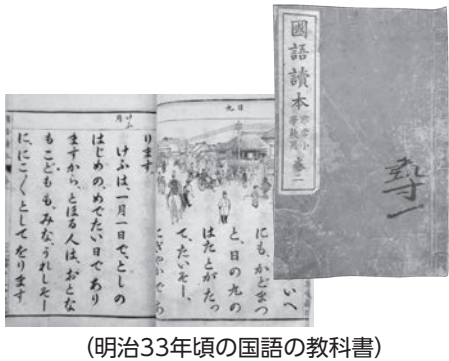
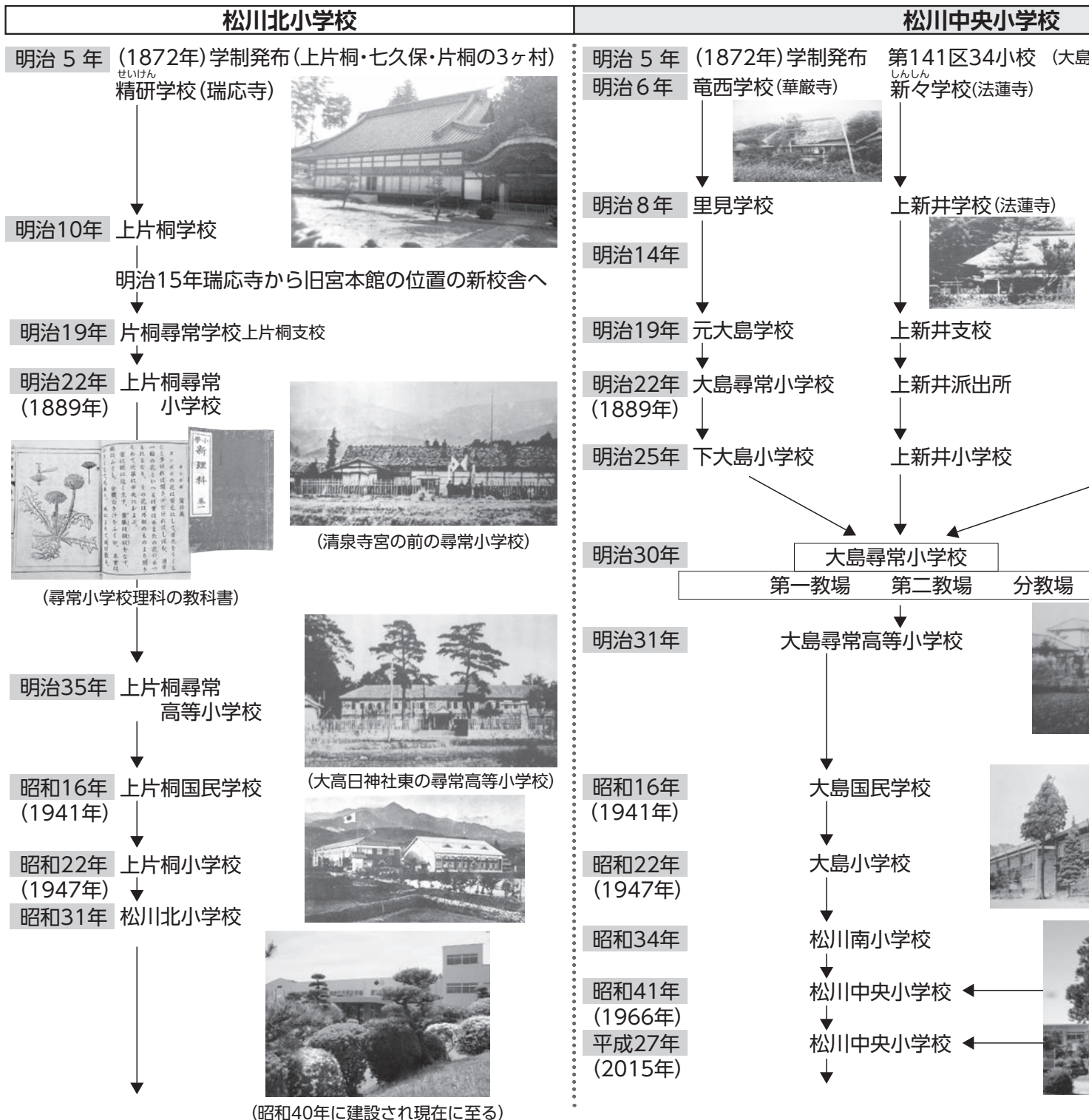
## 旧松川東小学校



明治5年(1872年)に学制発布されて昨年で150年がたちました。松川町の学制の歴史を振り返ってみました。明治維新により明治新政府が樹立されると、日本の近代化を目指して目まぐるしく施策が展開されました。その中でも重要視されたのが学校教育の普及とその近代化でした。いわゆる寺子屋から学校へ。しかし当時は寺院等の仮住まいの中で寺子屋と大差なく読み・書き・算盤が主なものでした。明治5年に「国民全体が初等教育を受けるべき」ことを強調した学制が發布されました。当時の全国を校区に分けられ、例えば中央小の前身は【筑摩県(141区)34番目あたる(34小校)】のように登録されその後分立して設立されてきました。その後、尋常小学校、尋常高等小学校、国民学校など幾多の変革の後、昭和22年新学制による小学校6年中学校3年が発足し今に至っています。上記のように各小学校のあゆみの中で村合併や町村合併による統合や閉校など150年の歴史を積み重ねて現在は2校の小学校が存在をしています。

町では学校ごとの完結型の教育から「保小中連携・一貫」

# 明治5年の学制発布から150年 松川町



(明治33年頃の国語の教科書)

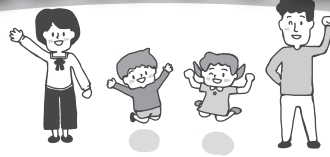
「一体化」への展開を図る事を通じて、幼児期から学びと育ちを生かす環境づくりと学びの継続を行い子どもたちの健やかな成長を推進していく取組がされています。

近年はICTを積極的に活用した学びの場がとりこまれていきます。この様な時代であつてもだれ一人取り残されることなく誰もが自分らしさを大切にしながら等しく教育を受けられることが基本におかれて推進されることを望みます。

又学校では学ばないことを地域で「学び、体験し、人とながる」ここに地域としての教育、育成する重要な役割があると思います。今こそ未来を担う子どもたちの為に学校と地域が一体となり子どもたちを育てたいものです。



# 体育協会60周年記念イベント



2月5日(日)に、松川町体育協会の60周年記念イベントが行われました。

真冬の寒い時期だったので、参加者がいないのではと心配していましたが、天候にも恵まれ、多くの方にご参加いただきました。

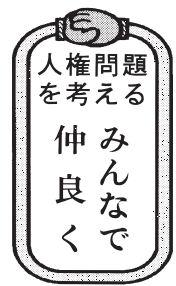
開会式では、体育協会の北原会長から挨拶があり、来賓祝辞では宮下町長よりお祝いの言葉をいただきました。

そしてオープニングでは、飯田女子高等学校チアリーディング部による発表があり、元気な皆さんのパフォーマンスはとて華やかで、見応えのある発表でした。

開会式の後は、ニュースポーツ体験と簡単な体力測定を行いました。ニュースポーツは、ワンバウンドふらばーるバレー、スポーツ吹き矢、囲碁ボール、スラックラインを行いました。どれも楽しんでいる様子で、寒さも忘れて腕まくりをする姿も見られました。



一方体力測定では、握力、長座体前屈、反復横跳び、上体起こし、立ち幅跳びを行いました。学生時代にやって以来という方や、何年も測った事が無い方も、久しぶりに自分の身体能力がどのくらいなのかドキドキしながら測定していました。参加された方は、「大人になると測定の機会も少ないので、いい体験が出来た。」と、清々しい表情で話されていました。60周年という節目を迎え、コロナも未だ猛威を振るうなかですが、松川町がよりスポーツに溢れる町になり、健康に楽しく過ごせることを願っています。また、町民の皆様と一緒にスポーツができることを楽しみにしております。今回、60周年記念事業にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



松川北小学校

### 阿部雅龍さんの講演会を聞いて

私は阿部雅龍さんの講演会を聞いて私も何か大きな事をしてみたいと思いました。今自分は引きこもり人です。全校の前には一度くらいは立ったことはあるけれど、あまりいい役はやっていません。雅龍さんはプロの冒険家と聞いて自分の好きなことをやっているんだと思いました。今は自信がなくても、自分の好きなことを一生懸命コツコツとやっていき、続けていこうと思いました。雅龍さんはアザラシやカピバラを食べたと言っていました。私も色々なことにチャレンジしていきたいなと思いました。

矢澤 桃子

ぼくは、阿部雅龍さんの講演会で今の生活ではどう考えているかわからないような事を話してくれました。例えば自作のイカダでアマゾン川を下るといって、自作のイカダで川を下ることでさえすごいのにアマゾン川を下ることや、北極や南極に何度も行っていることなどのスケールがちがいます。すごいことをいくつも話してくれました。世界に行っている阿部雅龍さんからその考えをたくさん教える

てくれました。例えばいろんなことをやってみることが大切と教えてくれました。

神田 楓斗

私は、阿部雅龍さんの話を聞いて思ったことは、10才のころから冒険家になりたいと「夢」をもっていたことがすごいと思います。

大人になって本当にプロの冒険家になり、北極やアマゾン川などのいろんな所に行って一人で自分の力でという勇気を持てるのが本当にすごいなと思いました。

それに、日本では食べないアザラシやカピバラを食べていることにおどろきました。

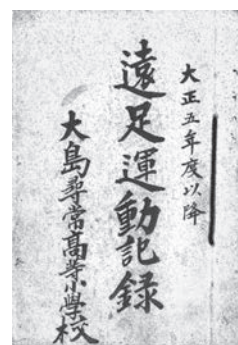
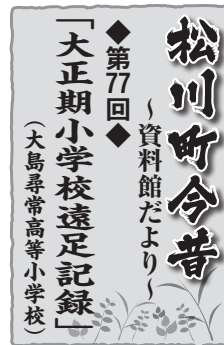
阿部雅龍さんの話を聞いて、本当によかったです。

平澤 菜央

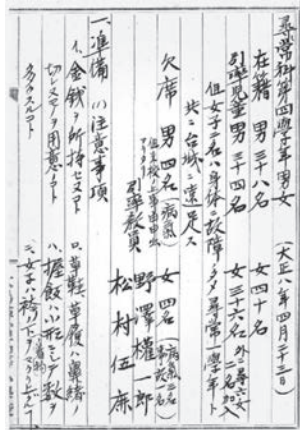
ぼくは雅龍さんの講演をきいて、雅龍さんは、いろんな動物や生物をさばいて食べてたりして、この人はなんでもさばいたり、食べたりできそうだなと思いました。アザラシをさばいてその肉を取ってそれを食べててすごい勇氣があるんだなと思いました。あと、北極南極ともに2ヶ月以上滞在していたり、銃をどこかにうっていかくをしていたりして、危険なんだなと思いました。それをきいてぼくは、冒険家ってなんでもやるんだなと思いました。

清水 琳斗

(次号につづく)



松川中央小学校に残されていた記録文書を、資料館で預り整理しました。松川中央小学校になるまでのいくつかの学校の史料があります。戦前の大島尋常高等小学校文書の中に、大正期の「遠足運動記録」という史料が一冊ありました。大正5年から9年までの尋常科1年から高等科2年までの8学年の遠足記録が入っていました。主として4月の春季遠足の記録ですが、一部に高学年の秋季遠足(10



月)の記録も入っていました。記録は学年によって少し違いますが、ほぼ共通しているのは、遠足に参加した児童数・不参加の児童数と氏名・引率教師の氏名・準備と指導・出発から帰校までの経路と状況・経路略図などです。どの学年の先生方もしっかりと記録を記述しています。各学年の目的地などは左の表の

	大正5・4・21	大正6・4・18	大正7・4・13
尋常科1年	台城	台城	台城
2年	上片桐	上片桐	上片桐
3年	下市田小学校	記録なし	記録なし
4年	生田	生田	記録なし
5年	不動滝(高森)	飯田町	不動滝(高森)
6年	不動滝(高森)	飯田町	飯田町
高等科1年	飯田町	上伊那(赤穂)	上伊那(赤穂)
2年	飯田町	上伊那(赤穂)	上伊那(赤穂)

とおります。1年生は村内の台城で、下の図のように歩いて遠足をしているようです。2年生は上片桐行き、上片桐小学校・瑞応寺・御射山神社・船山城址に行っています。3年生は市田村へ行



き、天竜川を渡って神稲・河野・生田を通って帰ります。4年生は生田の中を広く回って見学し、帰ってきます。5・6年生や高等科の飯田町行きは、多くの村を通り喬木村の松尾多勢子の墓・喬木村の竜東農学校など、いろいろな場所を見学しながら歩いています。

1・2年生は8時から8時30分に出発し、午後1時から2時ころには帰校しています。5・6年生や高等科1・2年生は、朝6時から6時30分に出発し、夕方5時から6時に帰校しています。かなり歩き見学する遠足だったことがわかります。

松川町資料館

伊坪 達郎



### 男女共同参画に関する令和4年度事業

生涯学習課では今年度男女共同参画により一層力を入れて取り組んでまいりました。  
今後も性別に関係なく個人が能力を発揮できる地域づくりを目指します。

#### 【令和4年度 男女共同参画に関する取り組み】

- 5月31日…男女共同参画推進委員会開催 R3年度のプラン評価
- 6月10日…町HPに男女共同参画ページを新規開設
- 6月23～29日…男女共同参画週間 啓発活動実施
- 7月6日…男女共同参画プラン推進員・地区推進員会議開催 事業推進検討
- 8月14・15日…成人式で啓発資料配布
- 9月10日…町内事業所・商工会へ啓発活動実施
- 11月11日…中央公民館パープルライトアップ  
〔「女性への暴力をなくす週間」連動〕

#### 【講座・講演会・イベント】

- 5月14日（土曜日）  
男と女いきいき講座 “ほめる子育ての落とし穴”
- 9月10日（土曜日）  
暮らしの知識を学ぶ講座 “ポーセラーツ教室”
- 10月1日（土曜日）  
ジェンダーと政治 講師：岡野 八代さん
- 10月15日（土曜日）  
男と女いきいき講座 “こどものサインが見えますか”
- 11月11日～25日  
“女性への暴力をなくす運動” 週間と連動した  
・中央公民館パープルライトアップ  
・男女共同参画特設コーナー設置  
(松川町の取り組みは、内閣府男女共同参画局HPでも紹介されています。)
- 11月12日（土曜日）  
“これからの男の子たちへ” 講師：太田 啓子さん
- 1月21日（土曜日）  
“男女共同参画キャリア形成” 講師：渡貫 敦子さん



講師の渡貫さんのお人柄と  
柔らかな話し調のおかげで、笑  
顔が多く楽しい講座となつて  
いました。ブリザードな  
ど厳しい環境が一目でわか  
かるものや、美しいオー  
ロラの動画を交えなが  
ら、渡貫さんご自身の  
キャリア形成にかかわる  
話はもちろんですが、普  
段見聞きすることの少な  
い、南極大陸についてや  
南極観測隊の話を知ること  
が出来、良い学習とな  
りました。

### ◆男女共同参画講座（キャリア教育）◆ 南極まで働く 〜かあちゃん調理隊員になる〜



1月21日（土）中央公民館え  
みりあで、男女共同参画講座  
が開催されました。

### 新指定文化財

## 「部奈の埋もれ木跡のあるミソベタ層」



令和5年2月1日、新たに1  
件が町の文化財（天然記念物）  
として指定されました。  
指定されたのは生田部奈区に  
ある地層「ミソベタ層」です。  
これは岡谷・諏訪・塩尻地域で  
活動した塩嶺火山<sup>えんれいかざん</sup>に由来する  
火山泥流が  
堆積したと  
される地層  
で、部奈か  
ら飯田市下  
久堅までの  
間で分布が  
確認されて  
います。  
埋もれ木跡が観察できます。こ  
のような痕跡が集中的に見さ  
れた例は他地区にないため、そ  
の特異性と学術的価値の高さが  
評価され、天然記念物に指定さ  
れることとなりました。  
詳細は町ホームページや資料  
館特設コーナーにてご案内して  
います。ぜひご覧ください。

昭和の  
スナップ写真から  
(続報)  
先月号の「昭和のスナッ  
プ写真から」で掲載しまし  
た舟下りの様子について、  
当時を知る方数名から情報  
をいただくことができました。  
当時、この松川町にも  
船着き場があり、旧宮ヶ瀬  
橋の南側、弁天さまの付近  
にあったとのこと！そこか  
ら高森、飯田へと下って行っ  
たようです。貴重な情報あ  
りがとうございました！

#### 【お詫びと訂正】

館報第710号(1月号)について下記の通り  
訂正がございます。  
P7「ひと」最上 段写真 キャプション部  
(誤) (左側)松田凜さん(右側)熊谷光愛さん  
(正) (左側)熊谷光愛さん(右側)松田凜さん



熊谷光愛さん 松田凜さん

訂正し、お詫び申し上げます。

### 水彩画教室

## お仲間募集

楽しくゆっくり  
やっています。  
のぞいてみて下さい。

\*開催日時

偶数月 第1日曜日

9時30分～12時

\*講師

大沢 徹先生

\*場所

中央公民館1階会議室

\*お問い合わせ

池田 晶子

☎ 36-3085



瑞宝双光章

(中の村) 高坂敏昭さん



昨年11月の秋の叙勲で、福与中の村の高坂敏昭さん(72歳)が瑞宝双光章を受章されました。長年にわたる教育への貢献、功績が讃えられたものです。

高坂さんは昭和49年4月に穂高中学校の教員となり、それから37年間学校教育に携わってまいりました。その間、大鹿小学校校長を3年。緑ヶ丘中学校校長を4年務められています。また元松川町教育長でもあります。令和3年には地方教育行政功労者表彰(文部科学省)も受章しました。長く教育に携わり、高坂さんは『子どもたち一人ひとりの違う個性を受け止め、その子の持つ多様な面をいかしていくことが大切。そうした多様なものの見方など、子どもを通して自分自身が育てられた』とおっしゃっています。

現在は、子どもたちが松川町の果樹栽培や工場見学など仕事を体験する「学びの旅」のコーディネーターをされています。この「学びの旅」に地元の子どもたちにも体験してもらい、そこに関わる大人も含め、地域の教育力を高めたいと、熱い思いを語られています。



国璽(こくじ)が押された賞状

すぽっと 松川町音楽祭

昨年12月にチャンネルユーで放送いたしました松川町音楽祭はご覧いただけただけでしうか。

町内音楽団体8団体にご協力をお願いいただき話題の曲から懐かしの名曲まで様々な演奏・合奏をお届けできたかと思えます。



町のYoutubeチャンネルで公開予定

加いただき、町民体育館を会場に開催しているイベントです。昨年も、9月11日(日)に

現地開催する予定で進めていきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染急拡大により、直前で中止とし、テレビ音楽祭として収録・放送いたしました。

生の音のあの迫力をお届けできないのが非常に残念です。体全体・五感すべてで聞くあの感覚はやはり画面越しでは伝わりません。今年こそ、みなさんの前で、100%の魅力をお届けできるようにしたいと思います。お楽しみに！



松川中央小学校

「五七五あそび」

(3年)

たんさん水

のめばのむぼじ

のむむむ

およいでる

めだかがいそいで

おどろこ

ともだちは

どこにいようと

ともだちだ

お正月

たぐさんあそんで

つかれたな

ごはんには

かんしゃをしよう

いただきます

うそ日記

つもの方が

むずかしい

消しゴムは

消してけずられ



かわいそう

短歌

サッカースペイン戦

堀本

瞬子(諏訪形)

日本中固唾を飲んだスペイン戦

勝利の瞬間「ブラボー」と叫ぶ

信長も見たかも知れぬ月の神秘

家族と仰ぐ皆既月食

栗田か統一教会とのかかわりを

テレビは報ず政治家の闇

車山リフトで昇る草原の

初秋の風に足遊ばせて

コーチより「貴女はお手本」と誉められ

背筋を伸ばし筋トレ励む





北垣外遺跡  
遺跡発掘体験会



1月8日、町の新しい施設「元気センター（仮称）」の建設に伴い発掘調査が行われている北垣外遺跡で、遺跡発掘体験会が開催されました。当日は好天に恵まれ、町内外の子どもから大人、14名が参加されました。

初めに発掘調査講師の酒井先生から、北垣外遺跡では、今から約4500年前、縄文時代中期の人々の暮らしの跡が確認され、土器や石器など暮らしに使われていたものが発掘されていると、説明がありました。実際に発掘調査場に入ると、土器の破片や、火を焚いていた炉端の跡を確認することができました。

早速発掘体験に移りました。お子さん達からは、「遺跡が見つかるかな」、「お宝は出るかな」などワクワクする様子が伝わってきました。スコップやブラシを使い、みなさん黙々と発掘を進められていました。なかなか根気のいる作業で調査員の方々が土の掘方などを丁寧に教えてくださいました。

見つかりました。酒井先生が発掘された石器について解説され、参加者は興味津々に聞かれています。中には、模様が描かれた土器の一部なども見つかり、掘り当てたお子さんからは喜びの表情を伺うことができました。

参加された方々に参加のきっかけや感想をお聞きしました。

「小中学生」土を掘るのは大変でしたが楽しかったです。教科書でしか見たのを見ることができたので、実際のものを見てみたい、参加しました。

「お子さんと一緒に参加された親御さん」子どもが、石や化石が好きで、チャンネルユーで放送された発掘調査の様子を見て、子どもがやりたいと興味を持っていたので参加しました。

「他の参加者」地道な仕事の積み重ねで、遺跡が世に出るのだと思いました。一鍬一鍬が大切に感じ貴重な体験になりました。

発掘体験会に参加された多くの方が初めての体験で、貴重な体験会になりました。



2022年

リニアの開通には賛否さまざま意見があります。諸々問題も抱えてはいますが、それでも地域の発展に期待を寄せる人たちも大勢います。都市部に簡単に行けるようになることも魅力の一つです。私は心配なことが一つあります。それは「本当に地域は発展するのか？」ということです。過去を見てみると交通網が発達すればするほど、大きな町、大きな店舗ほど有利になり、田舎は衰退しているからです。もし道が狭く移動に時間がかかれば近くで用事を済ませようとなります。しかし簡単に遠くに行けるようになれば、何でも揃うところに行ってしまうからです。物資の輸送では交通網の発達は大いに貢献しています。しかし人の流れも大きなところへと流れてしまっているのではないのでしょうか。こうした過去に学び、便利な交通手段ができたとき、私たちは何をすればよいのでしょうか。この地域の魅力を自分たちがしっかり理解していることが大切だと思います。

光澤 正之

公民館報  
「まつかわ」  
第711号  
令和5年2月15日  
発行所 松川町公民館  
責任者 山崎 隆  
編集人 公民館編集部  
Tel 36-2622  
e-mail: c.kouminkan@town.matsukawa.lg.jp  
飯田市上郷黒田121  
印刷所 龍共印刷株式会社